

6月号では、「人生にかかるお金、資産形成の視点」についてご紹介しました。

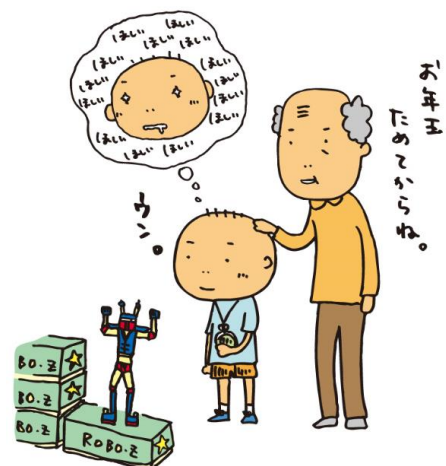
今月は、「クレジットカード、カードローンと上手につきあう方法」について、詳しく学んでいきます。

## ●お金を借りるということ

クレジットやローンの活用方法の前に「お金を借りる」ことの意味などについて、少し考えてみましょう。

生活する上では、いろいろな物やサービスを買う必要があります。「お金を貯めてから買う」というのが基本ですが、「お金を借りて買う」こともできます。もちろん、「お金を借りて買う」と、あとで「お金を返す」必要が生じます。

返済期限が来ているのにお金を返せないことを「延滞」といい、そのまま延滞が続くと、今後のクレジットやローンの利用に支障が出るのが通例です。最終的には、裁判を通じた強制的な取り立てや、破産の申し立てを受ける場合がありますので、「借りたお金は返す」という約束を破ると大きな代償が待っているということを肝に銘じなければなりません。



## ●クレジットカードやカードローンの活用方法

	(1) クレジットカードによる購入	(2) カードローン(消費者金融),キャッシング付きクレジットカードによる借入れ
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>現金を持たずに買い物できる</li> <li>代金は後払いで商品が手に入る(翌月一括払い, 2回払いなどであれば, 手数料&lt;実質的な利息&gt;はかからない)</li> <li>代金は分割払いが可能である</li> <li>公共料金の支払いや納税に使える</li> <li>利用するごとにポイントが付与される(ポイント特典)</li> <li>カードの利用代金明細書を家計管理に活用でき家計簿の代わりにもなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも簡単に借入れができる</li> <li>資金の使いみちは自由</li> <li>預金を下ろすのと同じようにATMから借入れができる</li> <li>返済には, ATM, 銀行振込, 口座振替などが利用できる</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>3回以上の分割払いやリボルビング払いの場合には手数料(実質的な利息)がかかる</li> <li>毎月一定額を支払うリボルビング払いは計画的に支払いやすい反面, カードの利用が増えると支払期間が延びていき, 手数料(実質的な利息)の負担も重くなる</li> <li>支払いが滞った場合には延滞料がかかる</li> </ul>	<p>返済が滞ってしまうと, 延滞利息が発生するほか, 信用情報機関に延滞情報(事故情報)として登録され, 以下のような制約が発生する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録期間中は同じカードで借入れできなくなるだけでなく, 新たにカードローンの契約を結べなくなる</li> <li>住宅ローンなどの他の借入れも利用できなくなる</li> <li>弁護士や税理士等, 一定の職業に就けないなどの制約もある</li> </ul>

## ●使いすぎると知らないうちに「多重債務」に!?

「延滞」はしていないものの、ローンの返済を別のローンの借入れで工面し、借金が借金を生んで、膨らんだ借金返済が困難となることを「多重債務」といいます。「多重債務」に陥ると、膨らんだ借金の返済に行き詰まり、「自己破産」という事態になり兼ねません。「私は心配ない」、「少しの金額しか借りていない」など、安心は禁物です。多重債務に陥らないためには、①お金を安易に借りない、②返せる範囲でしか借りない、③借りたお金はなるべく早く返済する、この3点を心掛けてください。